

肺切除手術の入院から退院までの流れ

様式1

ID: @PATIENTID 氏名: @PATIENTNAME 様

入院前 月日	入院前	入院日	手術当日(術前)	手術当日(術後)	術後1日目	術後2日目～退院まで
治療 処置 検査等		<ul style="list-style-type: none"> ・20時に座薬(下剤)を入れます ・眠れない時は、お薬がありますので、看護師にご相談下さい 	<ul style="list-style-type: none"> ・6時に浣腸をします ・入れ歯、時計、眼鏡、アクセサリ類等、外せるものは全て外して下さい ・手術着に着替えます ・血栓予防のストッキングをはきます 	<ul style="list-style-type: none"> ・点滴は一日中行います ・抗生物質の点滴を行います ・心臓の状態をみるため、心電図モニターをつけます ・呼吸を楽にするために、酸素吸入を行います ・足に血栓予防のマッサージ器をつけます ・胸に管(ドレーン)が入っています ・背中に痛み止めの管が入っています ・回診があります 	<ul style="list-style-type: none"> ・点滴の量が減ります ・抗生物質の点滴を行います ・心電図モニターを外します ・酸素濃度がよければ、酸素吸入を中止します ・足のマッサージ器を外します 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日回診時ガーゼ交換を行います ・バストバンドは術後1ヶ月は着けておきましょう ・ストッキングはできるだけ退院まではきましよう ・排泄量をみながら胸の管を抜きます。管を抜いた1週間後に抜糸します(外来で行うこともあります) ・痛み状態をみて、管を抜きます
・医師の指示により、術前検査があります					・病室でレントゲン撮影と血液検査があります	・術後2・4・7日目にレントゲン撮影と血液検査があります
食事		・医師の指示の食事が出ます	・深夜0時から食べることができません ・麻酔科医師の指示された時間より水分を摂ることができません	・食べたり飲んだりすることができません	・午前6時から飲水できます ・昼からお粥を食べることができます	・米飯へ変更できます
薬	・入院日に内服中のお薬とお薬手帳を持参して下さい	・ご持参されたお薬とお薬手帳を確認します ・医師の指示により内服薬が変更となる場合があります ・医師の指示に従って、看護師が内服薬をお持ちします	・内服薬は中止です		・内服薬を再開します ・痛み止めの内服は3時間以上あけて1日4回まで内服可能です ・痛みがある場合は、我慢せずにお知らせ下さい	
安静度	・体調を整えましょう ・禁煙しましょう ・術前1ヶ月以内の予防接種は控えて下さい ・マニキュアは落として下さい	・病棟内自由に過ごせます	・麻酔科医師の指示された時間に手術室へ行きます。前日に時間をお知らせします	・翌朝までベッド上安静です ・看護師が適宜体の向きをかえるお手伝いをします ・可能な範囲で下肢の運動をして下さい	・立つ練習と歩く練習を看護師と一緒にします ・移動の際は看護師がお手伝いしますので、お知らせ下さい	・移動が難しい場合は、看護師がお手伝いしますので、お知らせください
排泄	<以下の場合は外来へご連絡下さい> ・症状に変化がある時 ・38度以上の発熱の時 ・ご家族がウイルス性の病気に罹った時	・シャワーはできます	・シャワーはできません	・尿の管が入り、自然に尿が出る状態となっています ・排便時はベッド上となります。お知らせ下さい	・状態を見て、尿の管を抜きます ・トイレ歩行できます ・初めてトイレへ歩く時は看護師が付き添います ・看護師が体を拭きます	・トイレ歩行できます
清潔						・計画的に体拭き・洗髪を行います ・胸の管と背中の痛み止めの管抜去後はシャワーはできます
説明	・医師より入院・手術の説明があります ・看護師より入院・手術の流れの説明があります。必要物品・呼吸訓練について別紙で説明します ・入院窓口で入院説明があります	主治医より手術説明があります ・麻酔科医師と手術室看護師の訪問があります ・病棟薬剤師より内服薬について説明があります	・ご家族の方は、手術中は病棟のデイルームでお待ち下さい。その場を離れる場合は、看護師にお知らせ下さい	・医師より手術結果の説明をします ・痛みがある場合は、我慢せずにお知らせ下さい ・大切な点滴や管が入っていますので、抜けないように気をつけて下さい	・術後の肺炎予防や肺を拡げるために呼吸訓練をしましょう ・胸の管は引っ張ったり折れないよう気をつけて下さい。部屋にいる場合は必ず吸引器のコンセントをさしておいて下さい	・退院が近づきましたら、パンフレットを用いて退院後の生活について説明します ・医師より病理の結果と今後の方針について説明します(外来で行うこともあります) ・次回受診日を説明します

